

⑧気になる子の有所見率について

有所見率(乳幼児健診における精神発達面有所見率)とは、
乳幼児健診において、言葉、多動、自閉的傾向、精神発達遅滞等として、健診の場
で医師による判断として出された数値である。

◆ 1歳6か月児

単位：人、%

年度	事項	精神発達(延)人数 (発達が気になる1歳6か月児の数)	1歳6か月児 受診者数	1歳6か月児 有所見率
H25		824	14,706	5.6
H26		827	14,384	5.7
H27		725	14,181	5.1
H28		686	14,388	4.8
H29		752	14,529	5.2

※ 有所見率(%) = 精神発達(延) / 受診児全数 × 100

◆ 3歳児

単位：人、%

年度	事項	精神発達 人数	言語発達遅滞 人数	合計数(延べ) (発達が気になる3歳児の数)	3歳児 受診者数	3歳児 有所見率
H25		495	372	867	14,613	5.9
H26		452	374	826	14,401	5.7
H27		435	377	812	14,354	5.7
H28		474	389	863	14,731	5.9
H29		466	339	805	14,382	5.6

※ 有所見率(%) = (精神発達(延) + 言語発達遅滞(延)) / 受診児全数 × 100

※言語発達遅滞は、診察所見内訳の言語の内、言語発達のことをいう。(参考：乳幼児健康診査報告書：平成29年版より)